

ここに上れ アッシャー・イントレイター

アグローエルサレムコンボケーション2019 火曜日 PM セッション

Asher Intrater - Come Up Higher

Aglow 2019 Jerusalem Convocation — Tuesday PM Session

私はイスラエルの城壁の見張り人であるすべての人々にこれを捧げます。祈ってくださいている方、本当に神様はより高いレベルに私たちが来るように召しておられます。主は霊の領域において、また純粋さにおいて、私たちが天の場所で手にできる新しいレベルの権威と力のより高いレベルに私たちが召しておられるのです。それは周囲の世界を変えるためです。選択の余地はないのです。それはもう現実が、このレベルに達しなければ世に征服されるという時点まで来ているからです。

🔑 【世界を変えるためには、私たちは新しいより高いレベルの権威を行使しなければならない。】

詩篇から読みましょう。110 篇です。最初の三節を読んでいきます。

この箇所はメシアの預言です。メシアに関する最も高き預言の一つで、新約聖書でももっとも引用度が高い預言です。英語の聖書とヘブル聖書では少々異なりヘブル語では一節と二節となります。

詩篇 110 篇 1～3 節 ダビデ【主】は、私の主に仰せられる。「わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまでは、わたしの右の座に着いていよ。」 2 【主】は、あなたの力強い杖をシオンから伸ばされる。「あなたの敵の真ん中で治めよ。」 3 あなたの民は、あなたの戦いの日に、聖なる飾り物を着けて、夜明け前から喜んで仕える。あなたの若者は、あなたにとっては、朝露のようだ。

まだイエシュアが生まれる前にイエシュアの預言が書かれています。高い預言です。ザカリヤの 9：9 にあるようにロバに乗ってこられる低き身で来られる主ではなくて、大いなる権威の場所、天高きところにおられる主の預言です。

この詩篇は新約聖書で何度も引用されています。実際、イエシュアが試みを受けたとき、大祭司が主に訊きました。「あなたはメシアなのか？」主は「メシアであるのみならず、力と権威ある父の右に座っている者である」と答えられました。そのことばによって彼らは主を十

十字架につけることを決定したのです。メシアは今日、十字架上におられません。墓にもおられません。主は神の右の座に座って おられるのです。

《敵の真ん中で支配する》 ヘブル語で「敵の真ん中で支配する」という言葉は「ラダー」という言葉です。創世記一章で用いられている「支配する」という単語と同じ単語です。つまり神がアダムとイブに 地を「支配せよ」と言われたのと同じ単語なのです。

アダムとイブが地を支配するのに失敗した後、メシアが来られました。そしてメシアは天に上られ、その場所ですべての権威を受けておられます。神は主におっしゃいます。「あなたはわたしがアダムとイブに成すようにと命じた業を終えた。さあ、地球を支配しなさい」

☞ 【我々は敵のど真ん中で支配する権威をもつように配置されている。】 神様が最初にアダムとイブに言ったことは失われてはいません。天のこの場所でイエシュ

アによって成就されました。それは、ただ主だけを意味していません。この権威の位置は人々の群れを含みます。主の日に自ら戦う人々のことです。その人々は主のスタッフ＝同 労者となるのです。

《我々は主の同労者です》 英語でもヘブル語でも言葉に遊びがあるのは興味深いことです。スタッフという単語は「ムチ」も意味します。同時に主に使える「同労者」をも意味するので。我々は主のスタッフです。主の日に自発的に働く主の民なのです。

☞ 【我々は主の権威が目に見える地上の神のスタッフであり、天の御心と目的を地球という領域に運んでくるために主につかえる主の民である。同時に、我々は天の場所に 主とともに置かれている。】

さてこれはイエシュアがお生まれになるまでの預言です。今日、これは預言ではなく、現実です。この預言を読んだことがある人は、どうやってその場所に行くのだろうか？と疑問を持たれたかもしれません。つまり、イエシュアは天で神とともに座しておられる・・・。エルサレムにはロバに乗ってこられる・・・。どういうことでしょうか？ 主は天の神の右に座するためには天に上らねばならなかった・・・。これが起きたのでしょうか？ もちろんです。

それはオメルで、過ぎ越しの 43 日目のことに起きたと言えるのです。驚くべきことですが、この日はイスラエルの軍隊がエルサレムを征服した日です。イエシュアが天のエルサレムに入られたのと同じ日に、何年も後に、地上の軍隊が地上のエルサレムに入ったのです。

しかしながら、今日はエルサレム征服のお話を強調したいのではありません。今日強調したいのは、「主は天に上っていかれ、権威の座に着かれた」ということです。

《エペソでのパウロの祈り》 エペソ一章のパウロの祈りについて話します。彼は私たちが今起こっていることの啓示を受けるために祈っています。人間の霊ではつかむことが難しいこと。ゆえにそれを理解するための啓示が必要なのです。

《十字架》 私が現在理解していることの核心をお話します。イエシュアは天に上られました。イエシュアが死なれ、主の血が流された、それが世界を変えたのです。そうですね？あなたを、私を変えたのです。罪からの赦しを与えてくれました。贖ってくださいました。救いをもたらしました。これは史上最も重要な出来事の一つです。しかし、起きたことはそれだけではないのです。

《復活》 イエシュアが死から蘇ったとき、第二の出来事が起きました。主が死から復活されたとき、死から主を引き上げる霊的な力が存在したのです。主に永遠のいのちを与えたこの同じ力が、私たちに永遠のいのちを与えてくださいました。

主の十字架の死は、私たちの罪の赦しを与え、復活は永遠のいのちを与えてくださいました。あなたはそれを信じますか？確信がありますか？その新しいいのちを持っていますか？皆さんが確信を持ち、また、新しいいのちを持っていると私は信じます。しかし、そのことは、あなたが手に入れられるようにとパウロが祈っていたことではありません。

パウロが私たちに理解して欲しいと願っていたことで、私が理解している内容をお話しましょう。

パウロは自分が開拓した教会に対して語っています。イエシュアの十字架、復活に関しては皆さんおわかりでしょう。しかし、ここに皆さんが気づいていない第三の領域があります。十字架と復活に匹敵する大事なことがあります。それは昇天です。

《昇天》 昇天には、異なる目的がありました。それは「罪の赦し」ではなく、「永遠のいのち」でもないのです。それは「支配する」ためです。「権威」のためです。主の十字架が我々に赦しを与えてくださった時に、主は天の場所へと上られました。主の復活は我々にいのちを与えました。昇天されたという事実は、我々に支配する権威を与えられたということです。しかし、これを理解するのは難しいのです。

🔑 【私たちは十字架を通して罪の赦しを、復活を通して永遠のいのちを得ている。そしてキリストの昇天によって他のどんな権威にも勝る全てを支配する権威を与えられたのです。】

まず、イエシュアは天に行かれ全てに対する主権と権威をとられました。ここまでは、つかめましたか？

さてイエシュアが昇天されたとき、主はすべての権威を手中に収められました。主はすべての力、行政機関、この世の権威の上に立たれました。主は、主ご自身が宇宙の主権をもって支配され君臨される場所を手中に収められました。

パウロはこのことをあなた方に理解して欲しいのです。イエシュアが天に上られたときの知恵と啓示の霊を受け取ってほしいのです。主はすべての権威の上に立たれたのです。主はすべての権威を手に入れ、そしてそれを世界中の教会（エクレシア）に与えられたのです。主

の民に与えられたのです！主が権威を手に収められただけではないのです。主は我々にその権威をくださったのです。罪の赦しと永遠のいのちに加えて、この世のすべての権力、すべての力の上に立つ権威を私たちは与えられたのです。

🔑 【我々はこの世の権力、この世の力、それらすべてを超える主権と権威を手に行っているのです。】

《世界中の混乱》 世界中で何が起きているかのニュースを聞くと、香港、中国などで大きな戦いが起こっているのがわかります。皆さん祈っていることでしょう。イラン、中東、イギリス、アメリカ、エチオピア、ウガンダ、ブラジル、そして世界中の国々で戦いがあります。圧倒されるほどのひどさです。みなさんも感じておられるでしょう。私は「神様、解決はどこにあるのでしょうか？」と心から祈りました。しかし、解決策などありません。解決策がない・・・それが問題なのです。

我々がいる地上には解決策は存在しません。その解決策を得るにはもっと高いレベルに行かねばなりません。混沌の中にある世界は我々を待っています。我々は周囲に起きていることに影響を与えることができる存在なのです。

《エクスシア＝ギリシャ語で権力、権威を表す》 権威という時、世の中を乗っ取る組織的権威を意味しているのではありません。聖霊からくるエクスシアのことです。つまり、祈り、道徳的模範、福音、霊的権威などを通して、我々は世に影響力を持っているのです。イエシュアがこのエクスシアを我々に与えてくださったのです。今すぐその場所へ行かねばなりません。

🔑 イエス様は世に影響を与える権威を我々にくださいました。 昨晚（大会1日目の夜）お話ししましたが、イスラエルでは選挙が一週間後にあります。答えがありません。これだけの天才を抱える国なのですが、解決法が見いだせないのです。

どうしようもありません！どうすればいいかわからないのです。どんな手を打ってもうまくいかないのです。この政府には解決策がありません。でも、神にとってはどうでもいいことです。神は私たちにさらに高い場所へと来て欲しいのです。

今日のメディアの洪水を見てみましょう。聖書の黙示録12章に書いてあるとおり、川の水が悪魔の口からあふれ、ゴミと性的倒錯がこの国に蔓延しています。テレビで「私はストレートです（＝異性愛者です）」とか「結婚」に関する発言を阻まれる現状があります。そんなことを発言すると、脅されたり、裁判沙汰にされたり、偏見を持った人と呼ばれたりします。メシアニックジューはここイスラエルでは宗教の権威者たちから迫害を受けています。大変な状況にいます。しかし、神はこのような悲惨な状況をもものともされません。皆さん、みなさんの力を貸してください。時が来ています。

🔑 【神は悲惨な状況をもものともされない。】

《より高い所に行く STEP》

- STEP1: イエシュアは昇天し、主はこの世界の権威を手にした。
- STEP2: 主はそれと同じ権威を私たちに与えてくださった。
- STEP3: 主は主のおられる天へ私たちを招いてくださった。エペソ 2 : 6 キリスト・イエスにおいて、ともによみがえらせ、ともに天のところに座らせてくださいました。

主は、我々は天のところに主とともに座っているとおっしゃっています。これは招きです。主がまず手にいれられ、そして私たちに与えてくださったのです。主は主とともに歩むことを招いておられます。これを理解しなければなりません。これは紙切れに書かれたことばではないのです。これは世界中の信仰を持つ人の生と死に関わることなのです。ではどうやってその高い場所に行けるのでしょうか？

- STEP4 : 神の霊を通して主のみもとに近づくことができる エペソ 2:18 私たちはこのキリストによって、両者ともに一つの御霊において、父のみもとに近づくことができます。

神の霊によって祈るとき私たちは父の御座にアクセスできると書いています。他に方法は ありません。自動的なエレベーターはないのです。聖霊を通して、私たちは神の御心に近づき、御座に行き、そして主と共にそこに存在できるのです。

これが、「パウロが教会に説明していたこと」です。

ただ私は、それだけでは十分ではないと信じています。あと一歩高い場所に行かねばなりません。パウロは実体験しなければならないと説明しています。それを今すぐに理解しなければなりません。その実体験は黙示録に記されています。さっそくみてみましょう。

黙示録の「統治の権威」をどう理解したらいいのでしょうか？

ヨハネはトルコ沿岸近辺のパトモス島にいました。彼の体は地上にありましたが、彼の霊は天へと連れて行かれたのです。

黙示録 1 : 10 ところが主の日に私は御霊に感じた。そして私の後ろの方でラッパのような大きな声がするのを感じた。

それがトランペットの音でないことはお分かりでしょう。それは角笛でした。GREAT という意味はギリシャ語では MEGA と言います。ギリシャ語で VOICE は PHONA と言います。」この二語をくっつけるとメガフォンとなります。あなた主からメガフォン（大きな音）を聞くのです。それは角笛の音です。角笛は主のメガフォンなのです。

ヨハネは言いました。「私は御霊にあった。するとイエスが私の方へ来てこう言った。大きな声、メガフォン、それは角笛の大きな音であった。」

私たちメシアニックジューは、角笛をよく吹きます。そこら中で吹くので部屋が臭くなります。まあそれは関係ないことですが。大事なのは角笛が私たちに語りかけている神のしるしであるということ。神が我々に語りかけているのです。その声を聞かなければなりません。

🔑 【神が語っている。我々は聞いているだろうか？】 黙示録二章で、主は七つの教会全てに語っています。「耳があるなら聞きなさい」。今大きな声で語っておられると言いましたね。しかし主は「聞く耳があるか？」と尋ねておられます。それは「あなたの耳に叫んでいる

のです。あなたは聞く気持ちがありますか？」ということです。難聴のことではなく、我々が聞いていないと主はおっしゃっているのです。主は「聞く耳がある人は誰ですか？あなた方は、私の声を聞かなければならない」とおっしゃっているのです。今日、我々は神の声を聞かねばなりません。選択の余地はありません。

《私たちは打ち勝つには主の大きな声を聞かねばならない。》 イエシュアは大きな声で私たちに叫んでおられると私は信じています。主の声を聞くことができますか？「あなた方は打ち勝たなければならぬ！」と主はおっしゃいます。勝利とは、打ち勝つべき困難が目前に存在する時に起こるのです。

🔑 【打ち勝つには、打ち勝つべき困難の存在が必須である。】 私が終わりの時代についてあまりにも楽観的に話すと言って、周囲から批判を浴びて驚いています。はっきりしておきましょう。私を誤解しないでください。今日世界は大変な状況です。しかしさらに悪化します。さらにもっともっと悪化していくのです。

私は、悪い時代が来ないなどと言っておりません。私は、「その悪い時代の真ん中で、我々は光のように輝く」と言っているのです。イザヤ60章1～2節に書いてある通りです。

起きよ、光を放て。あなたの光が来て主の栄光があなたの民のう上に上ったから。見よ。暗闇は地を覆い闇は諸々の民を覆う。しかしあなたの民の上には主の栄光が現れる。

🔑 【終わりの日の暗闇の中、神の光は主の民のう上に輝く】 再度申し上げます。悪い時代が来ないと私は言っておりません。悲惨な時代は来ます。今でも十分悲惨ですが、もっともっと悪化していくのです。しかしイエスはこう言っておられます。「あなたは打ち勝たなければならぬ！打ち勝たなければならぬ！」

ギリシャ語で「打ち勝つ」とは何という単語か知っていますか？ NIKE です。NIKE シューズの NIKE。NIKE はニコラスと同じ名前です。NIKE、nikau など。ニコデモも勝利を意味しています。聞いてください。黙示録で nikau という単語が29回出てきます。聖徒に獣が勝つ記事は2回です。29回のうちたった二回。第一の封印では二回白い馬に言及しています。この解釈に

は論争があります。しかしながら、私はそれでも、これは「勝利」を意味していると信じています。さて、イエシュアが勝利することについては何回書いてありますか？三回です。ではあと 22 回は？ 誰がこの戦いに勝利するというのでしょうか？あなたです！あなたです！あなたが勝利するのです。あなたが勝利する。あなたが勝利する。あなたが勝利するのです。これを知らなければなりません！

あなたが勝利しなければならないのです！多大な困難が待ち受けているでしょう。29 回のうち、22 回、黙示録の中で「打ち勝つ」という言葉が使われているのです。これは神から 聖徒たちへの「打ち勝ちなさい」というメッセージです。「ええ？もっと悪化するのですか？今でも最悪なのに。それに今でもそれほど私は打ち勝っているとは言えない。これでもさらに悪化したら、どうやって打ち勝っていけばいいのでしょうか？」そうですね。ここからが私の皆さんへの今夜のメッセージです。

《より高いレベル》我々はより高いレベルに行かねばなりません。主は民に「打ち勝て」とお語りになった後、次の内容をヨハネに黙示録 4：1 で語られました。

その後、私が見ていると、見よ、開いた門が天にあった。そしてさきにラッパのような声で私に呼びかけるのを聞いた初めの声が、「ここに上ってきなさい。そうしたらこれから後に起こるべきことを見せてあげよう。」

ヨハネが天に上った時、彼は終わりの時代に起こることを見せられたのです。ヨハネが見たものは、ヨハネが地上で生きていた間に成就不再でした。ヨハネは、将来成就する出来事を見たのです。また、ヨハネは大勢の人々を見ました。ヨハネの預言は、ヨハネが生きていた間にはなく、その大勢の人の生きる時代に成就するのだとヨハネは悟りました。未来の光景をヨハネは見たわけです。

《終わりの時代の人々の群れ》いつか、どこかで、この預言が成就する。その時代に生きている人々の群れは存在する。

もはやこれは終末論などではありません。もはや未来の預言ではなくなりました。ここに書かれていることは、「現在我々が直面している窮地たる現実」なのです。我々は「危機的状態」の中にいます。我々は、ヨハネが見たような天の権威をしっかりと手にするか、あるいは世に打ち負かされてしまうか、そのどちらかの段階にいます。主はおっしゃいました。「上ってきなさい！」と。

🔑 【キリストを通して私たちは神の権威へ近づくことができる。その権威とは他のいかなる権威と力にも打ち勝つものである】

《イスラエルの選挙》 私は来週誰に投票して良いかわかりません（注；選挙が一週間後に控えていた）。イエシュアを信じる人は誰も同じ様子です。ひたすら祈っています。これは地上的な決断ではありません。もっと高きに上らねばなりません。私たちはこのことに関して高い場所から祈る必要があるのです。イスラエルで起きていることに勝利するためには、もっと高い場所で解決策を得なければならないのです。現況に人間的な解決策はありません。これまで想像もしてこなかった天の霊的權威のレベルは、存在します。

🔑 【キリストによって与えられたがまだ我々が近づいていない霊的權威のレベルがある】

考えてみてください。ヨハネは一人の人間として天に上れたのです。神は彼に彼の見たことを記述するように言われました。なぜ？ それはいつの日か、いつか、この地上のどこかで、大勢の人々の群れが存在し、その人々が神の書を読み、そして、こう言うからです。「ヨハネが記述した内容を理解したい。」 私は、神は今、私たちにそれをして欲しいのだ（黙示録を理解すること）と信じます。

共にその高いレベルに行くためには、我々は心を合わせる必要があります。イエシュアは言いました。マタイ 18 : 19 もしあなたがたのうち二人がどんな 願いことについても地上で心を合わせるなら、天にいますわたしの父はそれをかなえてくださるであろう。

イエシュアが数人と言っています。普通はそれで十分でしょう。でも、私たちは今、世界全体について話しているのです。あなたの個人生活の中だけのことなら、二人、三人が地上で心を合わせたら十分です。

しかしです。もし歴史を変えたいなら、私たちはこれまで持ったことのないような權威が必要なのです。中国、ロシア、アフリカ、中東で起きていることを見てください。そしてアメリカで起きていること。私たちはもっと大きな權威が必要なのです。もし私たちが協力し、共にへりくだり、互いに赦し合い、足並みをそろえて純粋な心で共に歩むことができたなら、私たちはイエシュアと同じ天の場所に上り、そこに座ることができます。

《天に上るキングダムの權威を持って歩む大勢の民》 この地上にいる私たちにも、ヨハネのように天が開きます。ヨハネのように霊によって天

に上れます。誰か一人だけではなく、私たちみんなが天に上れるのです。主が持つておられるのと同じ權威を手にするのです。私たちはパレスチナ問題を解決するわけではありません。議論して「どうすればいいのか？ 話し合おう」と思案するわけではありません。しかし、考えてみてください。もしメシアニックジューとパレスチナ人クリスチャンが手を取り合い、共に祈るなら・・・、そして、私たちみんなが神の御座がおかれている天に 上る權威を持っているということを理解できたなら、必ず事態は変化します。

皆さんを怖がらせる気持ちはないのです。でもこれが「単に素晴らしいカリスマ的経験などではない」ということを理解してほしいのです。我々は今本当に危機的状況にいます。分か

れ道に立っています。生きるか死ぬかのシチュエーションなのです。アメリカから来た皆さん、もし、皆さんが、より高いレベルに入らなければ、アメリカはめちゃくちゃになります。中国は散々な状態になるでしょう。中東は「明日へたどり着くのは奇跡」というほどの危機の中にあります。

我々は、この高き場所に上っていかねばなりません。我々には高い場所があります。今こそ、その時です。

《黙示録をハンドブックとして読む》 黙示録をハンドブックとして読んでほしい理由は、今お話ししてきた権威をどうとらえた ら良いのかが節を追うごとに書かれてあるからです。

黙示録 7 章 では、私たちは聖霊の力に覆われているので何ものも私たちを害することはできないと書いてあります。 8 章 では、私たちの祈りは香のように天に上り、天使の鉢を満たし、それが火に変わり、正しい時に正しい場所にその火が投下されると書いています。

黙示録 15 章 では、私たちの賛美が「獣に打ち勝つ」と書いてあります。その節が書いてあるページを破って持っておかねばならないほどです。私たちの政府は獣です。世界政府ができれば、それは民を殺し、聖徒を迫害し、やがてイスラエルを攻撃してきます。しかし、それらの獣を、私たちは賛美で打ち負かすことができるのです！これを知らねばなりません！みことばがなんと言っているか、みなさん、知っていなければなりません。私たちが歌うとき、その賛美が獣を倒すのです！このことをしっかりつかんでおかねばなりません。より高いレベルに行かねばならないのです。私たちは一つになって、きよめられ、霊において世界を変えることができる霊的権威を行使できる高いレベルへと上らねばならないのです。歴史が変わるためにはそうしなければなりません。社会が変わるため、神の 御国が前進するためには、より高きレベルに上らねばならないのです。

🔑 【神が私たちのために用意して下さった位置に上ることは、必須のことです。

一致ときよさがある天の場所から、私たちは霊的権威を行使するのです。 制空権です。それが私たちの世界を変えます。】

あともう少し時間をいただいて、それから、みんなでその場所へと足を踏み入れます。

黙示録 10 章 には、この権威を捕らえるようにと書いています。

サラ（リバイブ・イスラエルの若い世代のスタッフ）が昨夜言ったように、私たちリバイブ・イスラエルは片足をイスラエルに、もう片足を世界の国々においています。わかりま すよね。皆さんはそのために今ここにいらしています。新しい権威が来ているのです。

黙示録 10 : 7 第七の御使が吹き鳴らすラツパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。何が起こるのでしょうか？

黙示録 10 : 11 その時、「あなたは、もう一度、多くの民族、国民、国語、王たちについて、預言せねばならない」と言う声がした。

私たちはその時代に入っていています-これはヨハネが天から言われたことでした。これはヨハネの生きている時代に全て成就されたことですか？ 違います。この黙示録は私やあなたの方のために書かれたのです。ヨハネは預言を記録したのです。ヨハネはこの黙示録に書かれている国々に対して預言しているのです。

🗝️ 【神のことばを生きたものにするには、まず信じ、宣言されなければなりません。】

🗝️ 【私たちは、新しい世代の信仰者です。神のことばを宣言します。そして、イエス様が地上を歩かれた時代以来、一度も経験されたことのない霊的権威のより高いレベルへ私たちを引き上げる預言、その預言を宣言していく信仰者です。】

黙示録に書いてあるだけでは何も変わりません。私たちは、まずこのことを信じ、この世に宣言していかねばなりません。ヨハネはそれをここで言いたかったのだと信じます。ある世代が、終わりの時代にこの黙示録を読み、ヨハネのことばと他の全ての預言を読み、理解し、信じ、これまでになかった霊的権威のレベルで国々に宣言し始めなければならないのです。

《私たちは、今立ち上がるこの世代の信仰者なのです。》

このことはまだ成就しておらず、今、成就されねばなりません。私は自己中心的になっているのではありません。又、傲慢にもなっていません。私の申し上げたいのは、次のことです。皆さん黙示録を今、読んでいますか？ここに書かれていることを信じたいですか？これを受け入れられますか？

主はおっしゃいます。 1) あなたは国々に預言しなければならない 2) あなたは多くの異なる言語を話す民、民族、国々に預言しなければならない。 3) あなたは、アグローの170カ国に預言しなければならない。 4) あなたは、ここイスラエルに来ている48カ国の男性女性に預言しなければならない。 5) あなたは、祈り、神のことばを宣言し、あなたの世界の状況を変えなければいけない。

私たちは、この「一致の場所」へ来なければなりません。私一人でも、あなた一人でもできないのです。私たちはみんなで、このことをしなければならないのです。

黙示録 11 : 15 第七の御使が、ラッパを吹き鳴らした。すると、大きな声々が天に起って言った、「この世の国は、われらの主とそのキリストとの国となった。主は世々限りなく支配なさるであろう」

上記が黙示録 10 : 7、11の預言の最後部分です。つまり、今もらっている預言は、最後の預言へとつながっていくということです。

さあ、今から言うことが、今夜の最後のポイントです。頑張ってください。

《イエシュアの再臨に道を備える》

今お話ししたことが最後の奥義、最後の預言ならば、私たちが今もらっている預言はその最後の奥義、最後の預言へとつながっていくのです。黙示録 11：15。今現在、世界中を私たちが支配するものではありません。しかし世界中が準備するために影響を与え始めること、つまり預言的権威を持ち始めること、神のことばを宣言して霊的影響を与えること、天的権威を持つことは可能です。そうやって私たちはイエシュアの再臨に道を備えるために世界を変え始めるのです。

今、その状態に至る必要があります。イエシュアはおっしゃいました。

1. あなたは、打ち勝たなければならない。打ち勝たなければならない。
2. あなたは、より高い場所へ来なければならない。
3. あなたはここへ来なければならない。

《終わりの時代の天的権威が物事を変える》

単に霊的な経験をするためなどではなく、霊的権威と天の預言的権威を理解して、その権威をこの世に行使し、この世に影響と変化をもたらす経験をするために、私たちは高く上るのです。

🔑 【天の私たちが置かれている場所から天的権威を行使するなら、地上のものを動かすことができる。】

「城壁の上の見張り人」のプログラムを受けた方はいかがでしたか？

一緒にあの高い場所に入りたいのです。そこに足を踏み入れなければなりません。イエシュアが私たちに語っていることを聞かねばなりません。

『ここに上ってきなさい。わたしの声が聞こえるようにもっと高い場所に来なければならない。あなたは打ち勝つことができる。天の奥義を手に入れることができる。最初にアダムに約束され、それからイエシュアに渡され、そして霊的にあなたに付与された天の奥義を、完全に手にするのだ。』

《主の御国を前進させる》

天的権威を今、手にして、地上で神の国を前進させましょう。主の再臨に備えるのです。そしてこの世の王国を支配するのです。それが私たちの仕事です。神の国を前進させるのです。その約束の日に向けて。

私たちは、政治的に誰をも脅かしたりしません。みなさん、政治のために祈り、霊的、道徳的な影響のために祈りましょう。義のため、正義のために、道徳的価値観のために、霊的影響を与えるために、そしてあなたの国の人々の心を変えるために祈りましょう。

政治的力がない？人々の心が変われば政治は変わります。人々の心が変われば、政党など関係ありません。このような権威を私たちは行使するのです。したいですか？

主に「はい」と言わねばなりません。少し祈りましょう。祈りの準備をしましょう。兄弟姉妹の皆さん、私の心をわかっていただけるようにと願います。

《最終ステップ—統治する》

イエシュアの十字架が赦しを意味し、復活が永遠の命を意味するのと同じように、私たちは統治する者であるということ信じねばなりません。霊的な意味です。政治的な意味ではありません。主のお名前によって、政治を超越する統治の霊的主権です。それをはっきりさせておく必要があります。自分の罪は赦されたと信じているゆえに、水の上を歩くこともできるとあなたは知っています。永遠の命を持っているとわかっているから水の

上を歩けるのです。私たちは、この世界で起きているカオスに対して天的な主権を持っていると知っているゆえに、このマントを着て、水の上を歩くことができます。

立ちましょう。そして主に宣言しましょう。「はい。私たちは打ち勝ちます。私たちは一つになります。」聞いてください。もし私たちユダヤ人とアラブ人がこの中東で一つになれば、みなさんはご自分の国々で必ず一つになれるはずですよ！

父よ、今あなたの前に立ちます。まるで紅海の前に立っているようです。軍隊では解決できません。経済的な解決もありません。哲学的解決もありません。しかし、あなたが私たちにこうおっしゃっているのが聞こえます。「ここに上れ。ここに上れ。全員だ。高いレベルに来なさい。理解の、より高いレベルに。霊的に物事が見える高い領域に。何が起き

ているかを理解できる高い領域に。霊的な力をつかむことができる高い領域に。イエシュアが天に上り、それゆえにあなたに与えられた統治の権威 (the dominion authority) を手にする領域に。」

私たちに言い訳はできません。主よ、あなたは統治の権威を手にし、私たちにそれを与えてくださったのです。あなたは私たちを招き、道を開いてくださり、そしてあなたはその統治の権威を私たちが手にするように命じておられます！主よ、私たちに他の選択肢はありません。今日ここに立って、私たちは YES と言います。

父よ。各国を代表して私たちは立っています。各国のキリストの体である私たちは、天的理解、天的啓示による知識、祈り方の知識、霊的権威そして統治の権威の理解がさらに増し加えられると信じます。黙示録 10 章を実行します。多くの国々に預言します。多くの異なる言語を話す人々に、国々の民たちに、多くの政治的指導者に預言します。

主よ、世界中のキリストの体に変化が起きるように祈ります。霊の目で見せてください。もし見えるならば、世界中のメシアの体を見たいです。異なる肌の色、異なる人種、異なる言

語の民が一致している姿を、協力している姿を見たいです。祈りの中で共にこの新しいレベル、天から共に一致して祈るというレベルにまで立ち上がる姿を見たいのです。状況の渦中からではなく、天から、地の状況に対して祈る姿を見たいです。あらゆる言語、

民族を超えて天の霊的状态にあって、私たちは火のように祈り始めます。角笛のように預言し始めます。国々に預言し始めます。主、メシア、王の再臨のために、この世界を備え始めます。

今感じます。主が、みなさんの心の中で、「互いの重荷を背負い合いなさい」とおっしゃっています。天的にどのように一つになれるのでしょうか？ 私たちは香港の人々が祈るように香港のために祈るべきです。中国本土の人々と同じような真剣さで中国のために祈るべきです。どこの国でも、こうして互いの重荷を負うべきなのです。

私がアラブの人々のために祈ると同様に、アラブの友人たちは私の国の人々のために祈ってくれます。こうやって重荷を負い合うとき、共に高い所に上れます。共に上り、共に一致し、将来起こることに対しても一致していくのです。

父よ、この部屋で兄弟姉妹が一致して祈っているように、世界中のキリストの体が一致できるように助けてください。想像するのは難しいことではありません。ここに48の国から来た人々が一致して祈っています。そしてインターネットで170カ国の人々が今一致しています。多くの民がもう高い場所に来ているのです。異なる言語を話す大勢の人々が互いに愛し合い、自分を互いに与え合っています。愛で結ばれ、イエシュアの君臨と神のことばに完全に従っています。私たちは預言し、祈り、主を賛美し、そして天を開き、主のこの新しき油注ぎを受けます。

今皆さんのため、自分のために祈ります。私たちが黙示録7章のように聖霊の力で覆われ、私たちの祈りが黙示録8章のように天に届きますように。また黙示録8章、10章のように国々で預言できますように。さらに黙示録15章のように私たちの賛美が獣に打ち勝ちますように。

父よ、私たちにあなたの声が聞こえますように。あなたはこう語っておられます。「私の声を聞け。そして打ち勝つのだ！私の声を聞け、そして打ち勝て！」そして今、皆さんと私は互いのために祈ります。「Nike, Nike, Nike(=打ち勝て)！」と。あなたは勝利者です！あなたの背景は関係ありません。しかしあなたは Nike(勝利者)なのです！あなたは打ち勝つ者です！そして今世界中の人々のために祈ります。私は世界中の人々の有様を感じています。信じる者たちが落ち込んでいます。疲れ切っているようです。そしてもう敗北者のように感じています。NO！神の人々よ、勝利せよ。イエシュアの声の聞け！その声は力に満ちた角笛のようだ！立ち上がれ！打ち勝とう！もっと高い場所に来なさい！国々に預言せよ！あなたの統治の権威を手にしなさい！天の場所にイエシュアとともに座りなさい！

父よ、私たちの上で天が開いているように今感じています。あなたの御国が私たちの上に 現れています。ただ権威を持って祈り、そして高い場所へと上ります。

父よ、天が開いていると信じます。天が開いています。勝利ある統治の霊と天の権威を、父よ、どうぞアジア、アフリカ、中東、ヨーロッパ、アメリカへと今、拡散してください。広げてください！

私たちはともに祈ります。一致してください。キリストの体が新しいレベルへと立ち上がることを祈ります。イエシュアと共に天の場所へと上り、天の場所を手にしめます。天で成ることが地に成りますように。地で成ることが天で成りますように。

父よ、今祈ります。キリストの体にこの預言的権威が回復しますように。私たちは互いに励まし合います。また、それ以上のこともします。黙示録 10 章 11 節の場所、その時に、新しい預言的時代をもたらします。私たちは神の御心を国々に告白し始めます。国々の王たちや政治的指導者らに神の御心を告白します。諸国の民族に、あらゆる言語を話す人々に、あらゆる地域の人々に、あなたの御心が何であるかを告白します。神の御国を宣言します。

父よ、私たちは統治するというマンデートの実行のために祈ります。間違った、肉的な方法ではなく、霊的な方法で。イエシュアのお名前によって、国々の上におられる主の権威によって。

エルサレムとテルアビブでは、車を停める場所を見つけるにも奇跡が必要なほどです。しかし、そんな事ごとを超える権威を求めて、ひたすら祈りたいのです。国を変えたいのです！イエシュアの権威を持って、この国が変わるようにと祈ります。父よ、イエシュアの名による権威によって私たちの国の正義のために祈ります。この国での御国の福音の拡大、正義、一致、平和を祈ります。香のように私たちの祈りが天へと上げられますように。（注：会場で異言で祈り、角笛が吹かれた）この角笛は「イエシュアは主である！イエシュアは主である！イエシュアは主である！」と宣言しています。

ハレルヤ、父よ。一つのドアがヨハネのために開けられたなら、この 48 カ国の人々のためにはどんな大きなドアが必要でしょうか！主よドアを開いてください、開いてください！開いてください！天の門を開いてください。東から西へと天の門を開いてください。あなたの民があなたを呼び求めています。天を開いてください。

父よ、あなたの御言葉は語ります。終わりの時代にはエリヤ、モーセ、その他の預言者、ヨハネの上にあった霊と力があなたの民の上に来ると。ごく普通の人々の上に。主よ、世界中のキリストの体がこの預言的油注ぎを受けますように。この霊的力を。モーセ、エリヤ、その他の預言者の上にあった預言的権威を。モーセはエジプトの地で、主に従順しないなら滅びると言いました。エリヤがアハブとイザベルに言ったのと同じ様に。この終わりの時代に、私たちは獅子の権威がもっと必要です。父よ、私たちはシオンに戻ってきました。私たちが

ユダ族の獅子の御国の権威に入れるようにと心からお願いします。（角笛が 吹き鳴らされている）

主が私の心に語ってくれるのを感じました。最初に読んだ詩編 110 篇を覚えていますか？ 主は言われました。「私は、私の力ある杖を、シオンから出す」。私はそれが、今、この時に成就することを祈ります。皆さんがこの地から、皆さんの 48 の国々に帰っていかれる時に。あなたは「主の杖」として出て行くのです。送られるのです。送られるのです。

送られるのです。シオンから主の力の杖として。祈りましょう。さあ立ち上がりましょう。私のでもなく皆さんのでもない、イエシュアのことば、聖書がたった今、皆さんの人生で現実化します。それが全てです。この会場の誰が偉いのもない。あなたと神のことば、それだけです。

父よ、詩編 110 篇に従って祈ります。ここにおられる方は全員、ここに書かれていることの一部となります。主に仕える民、あなたの力の杖が遣わされ、シオンから出て行きます。ここにいる皆さんのために祈ります。詩編 110 篇に書かれていることをつかんでください。皆さんはそのいのちを生きるために送られます。そのいのちとは愛するイエシュアの犠牲のいのちです。そして霊的権威を持って祈り、預言的油注ぎを持って預言し、あなたの国で主の杖となるのです。

父よ、今祈ります。全ての国に祝福を。イエシュアの恵みによって全ての教会に「わたしの声を聞け！わたしの声を聞け！わたしの声を聞け！この終わりの時代、もっと状況は厳しくなる。しかし打ち勝つ者にならなければいけない。これがイエシュアが私たちに語っておられることです。終わりの時代に、困難は来る。しかし、わたしの声を聞け。そして たった今、勝利者になりなさい。

最後のお祈りを・・・

皆さん、皆さんの中の勝利できないものを追い出すためにお祈りをさせていただいていい でしょうか？（会場は同意する） ハレルヤ、自分のためにもそれをします。

父よ、イエシュアのお名前によって、あなたは私たちが勝利者と呼ばれました。イエシュア、あなたは私たちに勝利者になるように命じられました。あなたは私たちが勝利者になると宣言されました。ですから、イエシュアのお名前により、角笛のような主の声によって、あなたの方の中にある勝利していないもの全てを今追い出す！あなた方が勝利者となったことを宣言する。あなたに命令する、勝利者になりなさい！命じます。勝利しなさい！

世に打ち勝つのです！肉に打ち勝つのです！悪魔に打ち勝つのです！新しいレベルに立ち上がりなさい！勝利しなさい。主の声を聞きなさい。角笛は告げている「打ち勝て！」（角 笛が吹き鳴らされる）

ジェーン・ハンセン・ホイト（霊で祈っている） 音よ立ち上れ。受けます、受けます。高き
に上れ。高きの上れ。高きの上れ。アッシャー、NIKEはJust Do It っていうキャッチフレー
ズでしたね？

なんという力強い言葉でしょうか！皆さん、何かにかき立てられる感じがしますか？ 今この
瞬間、かき立てられるという感覚を超えていますね。主は私たちをより大きな力、より新し
い油注ぎ、より偉大なる啓示、そして、「もっと高く上ってきなさい」ということばを与え
てくださいました。主は、全ての人を招いておられます、この部屋の皆さんを、WEBCASTの
皆さんを、アグローに関わっている全ての人を。主は私たちに語っておられます。「もっと
高く上ってきなさい、もっと高く上ってきなさい！」そして私たちの答えは「はい主よ！ た
だ、そうします。ただ、そうします！」。この場所から立ち去りたくない気分ですね。この
瞬間から離れたくないですね。主よ、ありがとうございます。シオンから、イエシュアの賛
美が流れ出る、我が救い主、我が贖い主！

今が、その時です。アッシャーは未来の時と来たるべき事ごとについて語って下さいました。
私たちは知っています。私たちは読みました。私たちはそれを信じます。準備の時です。私
たちの心がきよめられる必要があります。そして、戦略的な方法で新たなものに変えられ、
来たるべきものに備えるのです。アーメン。